

【NEWS RELEASE】

2020年12月25日

各 位

株式会社三井住友銀行

ヤマシンフィルタ株式会社に「ESG/SDGs評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、ヤマシンフィルタ株式会社（代表取締役社長：山崎 敦彦）に対し、「ESG/SDGs評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価融資」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回のヤマシンフィルタに対する評価結果は、「環境配慮型の製品・サービスにおける取組」、「ローカル／グローバル・コミュニティへの配慮」、「従業員への配慮」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において良好なESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

- ① 建機向け油圧フィルタやエアフィルタ等の分野において、ナノファイバー技術の導入により製品の長寿命化、断熱性能の向上によるCO2排出削減、大気汚染物質の放出抑制等を実現し、製品ライフサイクルを通じた環境負荷削減に貢献しておられる点
- ② 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な感染拡大を受け、独自のナノファイバー技術を活かしたフィルタをヘルスケア領域に応用して機能性を追求した一般用・医療用マスクを開発し、量産体制を構築することで感染症拡大の抑制に貢献しておられる点
- ③ 働き方改革に早くから取り組み、「残業ゼロ」や「在宅勤務率 50%」等の目標を掲げ、全社員を対象とした定時退社や、本社及び開発センターでの在宅勤務等の取組を推進しておられる点

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標 3：すべての人に健康と福祉を」「目標 7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「目標 12：つくる責任つかう責任」等の達成に向けた意欲をお持ちです。

また、横浜型SDGs金融支援制度（仮）（※3）の趣旨に賛同し、「横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”」（※4）の認証取得を目指すヤマシンフィルタは、認証取得に必要なチェックシートを作成しました。その内容を三井住友銀行、日本総合研究所が確認し、ヤマシンフィルタにおけるSDGsへの取組や、非財務情報の評価の一助として、本融資の取組に活用しています。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs 評価融資」により、お客さまの ESG/SDGs への取組を、金融を通じて支援してまいります。

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。



横須賀 R&D センター（イメージ図）
2022 年 2 月竣工予定ナノファイバーの
研究開発体制を整備



佐賀新工場（イメージ図） 2021 年
10 月竣工予定ナノファイバーを本
格量産供給



YAMASHIN NANO FILTER™を使用し
高機能を追求した究極のヤマシン・
フィルタマスクシリーズ

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

※3 横浜型 SDGs 金融支援制度（仮）

※4 横浜市 SDGs 認証制度 “Y-SDGs”

詳細は、2020 年 12 月 25 日付ニュースリリース「地方創生 SDGs 金融制度の構築を支援」をご参照ください。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。